
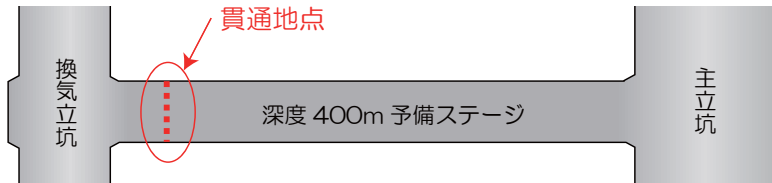


スポット ニュース

深度400m 予備ステージが貫通しました

瑞浪超深地層研究所では、深度400mにて主立坑と換気立坑をつなぐ水平の坑道（「予備ステージ」といいます）を掘削していましたが、平成21年10月17日午前5時30分に貫通いたしました。

この坑道は、高さ約3m、横幅約4m、全長約30mのかまぼこ型（このような形）になります。



貫通直後の深度400m 予備ステージ



深度400m 予備ステージから
主立坑の方向を見た様子

貫通地点の石

貫通した地点の石は、貫通石と呼ばれ「安産のお守り」として、珍重されています。古くは「神功皇后が戦いの際に敵の背後まで掘った洞窟を利用し大勝利を収め、勝利の記念に洞窟の石を持ち帰った所、元気な赤ん坊を産むことができた」という言い伝えにより、安産の守護石となったとされています。今日では、石（意志）を貫くことから「合格祈願」「結婚記念」などに持つ人もいます。

この貫通石を管理棟1階の展示ルームと瑞浪国際地科学交流館1階入口付近に置いており、ご自由にお持ち帰りいただけます（貫通石がなくなりしだい終了させていただきます）。



地層科学研究 情報・意見交換会を開催しました

東濃地科学センターでは、10月27日に瑞浪市地域交流センター「ときわ」にて「平成21年度 東濃地科学センター 地層科学研究 情報・意見交換会」を開催し、原子力機構の中期目標期間における地層科学研究の研究成果や研究成果の新しい取りまとめ方法の開発状況などについて発表しました。

この「情報・意見交換会」では、全国の大学や研究機関、企業や一般の方も含め約150人が参加し、有意義な意見交換が行われました。



情報・意見交換会の様子

来月の主な作業予定（12月）

【瑞浪超深地層研究所】

- ①主立坑と換気立坑の掘削作業
- ②深度200mボーリング横坑のボーリング孔(2孔)および深度300mボーリング横坑のボーリング孔(3孔)を用いた立坑近傍の水圧の長期観測
- ③深度200m及び300m予備ステージのボーリング孔を用いた水質等の長期観測
- ④地表からのボーリング孔(MSB-1,2,3,4号孔、MIZ-1号孔、05ME06号孔)での水圧等の長期観測
- ⑤排水処理設備におけるふっ素、ほう素の除去後の排水
- ⑥狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測
- ⑦研究坑道の排水等に伴う環境管理測定
- ⑧表層水理観測（気象観測、地表の傾斜量の観測等）
- ⑨共同研究（名古屋大学など）
- ⑩深度300m研究アクセス坑道のボーリング孔を用いた地下水水圧・水質観測（産業技術総合研究所との共同研究）
- ⑪東濃地震科学研究所との研究協力に伴う岩盤の傾斜の長期観測等

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧等の長期観測

立坑の掘削深度 (11月20日現在) **主立坑 400.2 m** **換気立坑 43.2 m**



地層研ニュースに関するご意見・ご要望や瑞浪超深地層研究所の見学のご希望などについては、下記の連絡先までお願いいたします。

【電話】0572-66-2244(代表) 【FAX】0572-66-2124 【Eメール】tono-ck@jaea.go.jp
《東濃地科学センターホームページ：http://www.jaea.go.jp/O4/tono/index.htm》
東濃地科学センター 地域交流課（武田，川瀬，牧田，福島）

「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」 第2条に基づく排水水等の測定結果 (平成21年10月分)

【採取日：平成21年10月7日】

単位：mg/ℓ (水素イオン濃度はpH)

測定項目	管理目標値	工事排水水	狭間川下流	※1 立坑の湧水	※2 狭間川上流	※3 掘削土の溶出量(主立坑)	※4 掘削土の溶出量(換気立坑)
水素イオン濃度	6.5～8.5	7.9	7.1	11.5	7.0		
浮遊物質	25以下	1未満	5		8		
カドミウム	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
全シアン	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有機燐化合物	検出されないこと	検出されず					
有機燐	検出されないこと					検出されず	検出されず
鉛	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.011	0.005未満	0.005未満	0.005未満
六価クロム	0.05以下	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満
砒素	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
総水銀	0.0005以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
アルキル水銀	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
PCB	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
トリカドミウム	0.03以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
テトラカドミウム	0.01以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
四塩化炭素	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
γ-カドミウム	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
1,2-γ-カドミウム	0.004以下	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満
1,1,1-トリカドミウム	1以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
1,1,2-トリカドミウム	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
1,1-γ-カドミウム	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
β-1,2-γ-カドミウム	0.04以下	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
1,3-γ-カドミウム	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
チウラム	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
シマジン	0.003以下	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
チオベンカルブ	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
ベンゼン	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
セレン	0.01以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10以下	0.85	0.65	0.27	0.14		
ふっ素	0.8以下	0.3	0.2	7.9	0.1未満	0.2	0.4
ほう素	1以下	0.41	0.31	1.2	0.02未満	0.05	0.02
塩化物イオン	—			170			
アモニア、アモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	—	0.97					

【測定期間：9月29日～12月末日】

花木の森散策路における空間放射線線量率	参考値	測定結果
	測定中 周辺地域の空間放射線線量率と同等※5	測定中 3ヶ月の集積空間放射線線量※6から算出

※1 立坑の湧水の値は排水処理によりふっ素・ほう素を除去する前の湧水の値です。排水処理後、狭間川へ排水します。
 ※2 狭間川上流は排水処理プラントの運転の参考、河川上流は河川状態の把握等のため測定しています。
 ※3 掘削土の溶出量は管理の対象となりませんが、湧水は排水処理プラントの運転の参考、河川上流は河川状態の把握等のため測定しています。
 ※4 参考値
 ※5 測定中
 ※6 3ヶ月の集積空間放射線線量

【掘削区間程度毎の掘削土溶出試験結果(主立坑)】

(単位：mg/ℓ)

項目(参考値)	ふっ素 (0.8以下)	ほう素 (1以下)	砒素 (0.01以下)	鉛 (0.01以下)	総水銀 (0.0005以下)
掘削区間					
400m 予備ステージ (0～25.0m)	0.1～0.3	0.07～0.27	0.005未満	0.005未満	0.0005未満

【掘削区間程度毎の掘削土溶出試験結果(換気立坑)】

(単位：mg/ℓ)

項目(参考値)	ふっ素 (0.8以下)	ほう素 (1以下)	砒素 (0.01以下)	鉛 (0.01以下)	総水銀 (0.0005以下)
掘削区間					
換気立坑 (400.2～415.6m)	0.2～0.5	0.03～0.10	0.005未満	0.005未満	0.0005未満

瑞浪超深地層研究所を見てみませんか？

瑞浪超深地層研究所では、地下を体験できる施設見学会を下記のとおり開催します。参加をご希望の方は事前申込が必要となりますので、12月10日(木)までに住所、氏名、電話番号をお知らせください。また、申込み多数の場合は締切り前に受付を終了させていただきますことでもありますのでご容赦ください。なお、当施設見学会は毎月開催する予定です。

【開催日時】平成21年12月13日(日) 9:30～11:30

【内容】地下300mの世界を体験いただけます。

【対象】小学校4年生以上

(工事現場での安全の確保のため、お子様の場合は小学校4年生以上の方に限らせていただき、保護者同行をお願いしております。また、歩行困難な方等はお控えいただけますようご協力をお願いいたします。)

※氏名等の個人情報は、当機構主催の見学会や講演会等のご案内に使用させていただく場合があります。

瑞浪国際地科学交流館のミニギャラリーの展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階のミニギャラリーでは、「押し花展」(仮称)の作品を展示いたします。是非、交流館へ足を運びください。

また、展示作品の募集も随時行っております。展示は無料ですので、お気軽にお問合せください。

【期間】12月14日(月)～1月31日(日) (10:00～17:00)

【場所】瑞浪市明世町戸狩字大狭間36-8(入館料無料)

【休館日】年末年始(12月29日～1月3日)

≪展示に関するお問合せ先≫

下記の地層研ニュースの連絡先へお問合せください。